

地球環境・インフラ事業グループ

## トルコ・イスタンブール地下鉄向け鉄道車両を受注

2014年5月、トルコのイスタンブール市政府と同市の地下鉄向け鉄道車両の供給契約を119百万ユーロ(約160億円)で締結しました。

人口増加が著しいトルコでは、イスタンブールな

ど都市部への人口流入に伴う慢性的な交通渋滞が深刻な社会問題となっており、同市政府は無人運転システムを採用した地下鉄網の整備を推進しています。今回供給する車両は、スペイン最大の鉄道車

両メーカーであるCONSTRUCCIONES Y AUXILIAR DE FERROCARRILES, S.A. (CAF社)製で、トルコ初の完全無人運転システムが採用される予定です。

今後も、三菱商事の無人運転車両の供給実績とプロジェクト遂行力、およびCAF社の価格競争力を強みに、トルコの無人運転システム鉄道網整備への貢献を目指します。



イスタンブール地下鉄 路線図

エネルギー事業グループ

## カナダのシェールガス初輸出を目指して

2014年5月、ロイヤルダッチシェル社、韓国ガス公社、中国石油天然気集団とともに、カナダのブリティッシュ・コロンビア州で推進している液化天然ガス(LNG)輸出プラントの共同開発計画「LNGカナダ」に関する合弁事業契約を締結し、本事業の操業会社を設立しました。

本事業は、4社のLNG業界における長年の実績と知見を結集させ、西カナダのLNG開発プロジェクトにおいて主導的な役割を果たし、カナダの豊富なシェールガスを、日本を中心とした市場にLNGとして長期安定供給するものです。本契約の締結をもって、



合弁事業契約の署名式



最終的な投資決定に向けた具体的な準備段階に入ります。

三菱商事は、既に西カナダでシェールガス開発事業を2案件推進しており、これらを供給源としたシェールガスの生産から本事業による液化までのバリューチェーンを構築することで、日本のエネルギー資源の調達源の多様化と長期安定確保に貢献していきます。

## オーストラリアでアジア向け穀物調達力を強化

2014年6月、シンガポールの農産物商社 Olam International 社が保有する豪州の穀物事業会社 Olam Grains Australia (OGA 社) の株式80%を取得することに合意しました。

OGA 社は、東豪州ニューキャッスル港の輸出施設運営会社の株式32.5%を保有し、年間100万吨超の穀物を取り扱っています。OGA 社の株式取得後、三菱商事は輸出施設の運営にも携わり、同国における穀物集荷機能を一層強化するとともに、豪州配合飼料製造・穀物集荷会社 Riverina 社 (三菱商事100%出資) とのシナジーを高め、競争力ある豪州産穀物の安定供給体制を構築していきます。



今後も、増大するアジアの需要に対応したグローバルベースでの食糧資源供給ソースの拡大を通じ、競争力のある安全・安心な食糧の安定供給に取り組みます。



(上) 東豪州ニューキャッスル港の輸出施設  
(下) 豪州の小麦畑

## グローバルインフラファンドとの戦略的提携に合意

2014年7月、グローバルインフラファンド運用会社 I Squared Capital Advisors (US) LLC (ISQ 社) との戦略的提携の合意を発表しました。本提携により、ISQ 社が運用するファンドに対し

て5年間で計1億米ドルの投資を行うとともに、ISQ 社によるインフラ投資案件の発掘や価値向上などに協力していきます。

これまで三菱商事グループは、大手インフラファンドへの出資、海外・国内の年金基金と連携したインフラ共同投資プログラムの立ち上げ、および同プログラムに参画するファンドの組成・運用を行ってきました。これらの取り組みに本提携を加え、積極的にインフラ金融事業を推進するとともに、インフラ投資に関する国内機関投資家のニーズの高まりに対応していきます。



グローバルにインフラ投資を行うファンドISQ社

## ドバイの総合水事業会社に資本参画

2014年7月、三菱商事と三菱重工は、国際協力銀行とともに、ドバイを拠点とする総合水事業



Metito 社がカタールに建設した下水処理場

会社 Metito Holdings Ltd. (Metito 社) および同社既存株主との間で、同社株式の一部取得に係る株主間契約を締結しました。

本株式取得後、三菱商事と三菱重工は Metito 社の事業に参画します。

三菱商事の国内外における水事業を通じて蓄積したノウハウおよび三菱重工の大型海水淡水化プラントの納入実績や高い技術の活用に加え、国際協力銀行による支援を受けることで、大幅な成長が見込まれる中東・アフリカ・アジア地域における水事業を展開させ、人々の生活環境向上と地域環境の保全を実現していきます。

## インドネシアで清涼飲料事業に参入

2014年8月、三菱商事とインドネシア小売最大手アルファグループとの合併会社 PT. Atri Pasifik (AP 社) は、タイの大手飲料会社 Ichitan Group Public Company Limited (イチタン社) との折半出資で、インドネシアに飲料製造販売会社を設立することに合意しました。

新会社は、イチタン社のマーケティング力や商品開発力、AP 社のインドネシアにおける生産・物流面の知見および同国全土を網羅する大手小売チェーンなどの物流網を組み合わせ、現地の消費者に支持される清涼飲料製品の提供を目指します。

三菱商事は、今後も、中間所得層の急拡大を背景に生活必需品の需要が増大する新興国におい

イチタン  
ブランドの  
茶系飲料



合併事業契約の調印式

て、国内外の有力企業とともに製造分野に本格参入し、新興国市場のニーズに合う「地産地消型」の安全・安心な食品の提供に努めます。

地球環境・インフラ事業グループ

## トルクメニスタン向け大型肥料プラントを受注

2014年8月、トルコの建設・不動産開発会社 GAP Insaat Yatirim ve Dis Ticaret A.S. (GAP社) および三菱重工と共同で、トルクメニスタンの国営化学公社トルクメンヒミヤ社から同国最大の肥料プラントを約13億米ドルで受注しました。三菱商事は三菱重工とともにプラントの設計、製

作・機器調達・試運転を行い、GAP社は詳細設計を含む建設工事を行います。

トルクメニスタン政府は、世界第4位の埋蔵量を誇る同国天然ガスの輸出に関し、高付加価値化や輸出・販売ルートが多様化に取り組んでいます。本プロジェクトは、その一環として、海外市場向けに輸出予定のアンモニア・尿素肥料を生産するプラントを建設するものです。

今後も中央アジア・中東・アフリカなどで化学プラント市場における存在感を高め、関連分野での継続受注を目指します。



プラント完成予想図

生活産業グループ

## 世界第3位のサーモン養殖加工会社を子会社化

2014年10月、株式の公開買付けを通じて、生産量世界第3位のノルウェーのサーモン養殖加工会社 Cermaq ASA (Cermaq社) を子会社化しました。

世界の人口増加に伴う食料需要が増加する中、食肉と並ぶ貴重なタンパク源である水産物の養殖市場は今後も成長が見込まれています。特に、養殖サーモンは環境負荷も低いことから、先進国だけでなく新興国においてもさらなる需要拡大が期待されています。

三菱商事は、国内での流通加工事業を基盤に、近年、海外でのサーモンやエビの養殖事業に参入し、生産から加工・販売までの事業を展開してい



Cermaq社が運営するノルウェーの海面養殖場

ます。Cermaq社の子会社化により、既存事業と合わせた事業規模や、食料分野での生産事業の知見および事業基盤を活用し、グローバル展開を加速させ、持続可能で安全・安心な食料資源の供給体制を確立していきます。